



だれもが  
きもちよく

みんなが まもる きまりには、  
どんな ものが あるかな。



おとす 人、ひろう 人

68-1

しょうこさんは いつも、学校<sup>がっこう</sup>へ いく みちで、  
犬<sup>いぬ</sup>を つれた おじさんに あいます。  
おじさんは、かたほうの 手<sup>て</sup>に 犬<sup>いぬ</sup>の  
ひもと ごみぶくろを 二<sup>ふた</sup>つ、もう  
かたほうの 手<sup>て</sup>には 火<sup>ひ</sup>ばさみを もって



います。

きょうも、おじさんに、「おはようございます。」と  
あいさつを して はなしながら あるきました。

おじさんは、おちて いる たばこの すいがらや  
あきかんを 見<sup>み</sup>つけて ごみぶくろに 入<sup>い</sup>れて います。

「きつと あるきながら すてて いくのだろうね。」  
と おじさんは いいました。

「ふうん。でも、どうして おじさんが ごみを  
ひろって いるんですか？」

68-2

69-1



「犬いぬと いっしょに さんぽして  
 いると、気きに なるんだ。それに、  
 きれいに しながら あるくと、  
 気きもちが いいんだよ。」  
 しようこさんは かんがえました。

69-2

(ごみを おとして  
 へいきな 人も いるけれど、  
 ごみを ひろおうと おもう 人も いるんだ。)  
 おじさんは、また 一つ、だれかが おとした

ごみを ひろいました。

かんがえよう  
 どうして ごみを みちに おとす 人が いるのかな。

かんがえよう  
 おじさんは、どうして ごみを ひろうのかな。

まとめよう  
 みんなで つかう ものや ばしよは、どのよう な  
 ことに 気きを つけて つかえば よいか、まとめよう。

ひろげよう  
 みんなで つかう ものや ばしよに きまりが ある  
 わけを しらべて みよう。

- 編集委員会 作
- 田中栄一 絵

69-3